

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX0968-44-2420

地域医療構想における山鹿市民医療センターの役割について

平素より、当院との医療連携には格別のご配慮をいただき心より感謝申し上げます。

さて、2025年問題を念頭においた地域医療構想の検討会が当地域においても始まりました。当院の急性期医療における役割は益々重要になってくると思われます。

平成22年11月に「地域医療支援病院」の承認を受けましたが、歴代の医師会長の先生をはじめ多くの先生方に大変ご尽力いただき現在に至っております。地域医療構想においても「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療への転換が求められており、紹介、逆紹介など地域医療支援病院としての諸々の連携が重要な位置を占めていると思います。但し、承認の要件として200床以上の病院との縛りがあり、感染4床、緩和ケア13床を含め急性期として201床を維持することは難しい状況にあり、一部地域包括ケア病棟を運用しています。入院が必要な症例のご紹介も更にお願ひ致す次第です。

また、専門外も含め当院で対応できないと判断した場合は熊本市内に紹介、転院搬送しています。がん症例の流出も多いというデータも出ています。そのような流出する症例を減らすためにも診療科の充実が必要です。常勤医師確保に向けて各方面に働きかけており、熊大病院の各教室にも頻回に出向いていますが、地域医療の重要性を認識され

ている教授もおられます。本年4月より消化器内科常勤医3名を確保できたことは病院の活性化に大きな力となっており、当地域のみならず周囲の地域も含めた中心的存在を目指しています。

さらに、急性期を過ぎた方の退院後の受け入れ先についても、当地域では十分とは言えず、やむなく熊本市、菊池、玉名などへお願いしているのが現状です。回復期や慢性期の病床管理、介護や福祉施設の充実、患者対応などについても今後の検討をお願いしたいところです。

今後とも「地域完結型」の医療をめざし、当院へ信頼してご紹介いただけるよう誠心誠意努力いたします。更なるご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

山鹿市病院事業管理者 豊永政和



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

地域医療構想における山鹿市民医療センターの役割について	P 1
登録医のご発言	P 2
地域医療連携だより(32)	P 2
医療最前線(77)	P 3
薬剤科のご案内	P 4
公開特別講演会	P 5
クリティカルパス研修会	P 5
高校生インターンシップ	P 5
外来担当医表(9月)	P 6

登録医のご発言



「感謝 感謝」

藤原クリニック
院長 藤原 一徳 先生

山鹿市民医療センターのスタッフの皆様には、日頃から手術症例や入院希望の患者様の対応をしていただき、心から感謝いたしております。私が、山鹿市立病院に勤務していた時でさえ外来、手術、当直など忙しかったのですが、DPCがはじまり、平均在院日数が短縮するとさらに大変になっている事と思われます。整形外科の高木先生、工藤先生には、いつも急なお願いを聞いてもらい、助けてもらっております。

関節リウマチの治療がここ10年で激変し、MTXや生物学的製剤の使用の際には、呼吸器科の先生のバックアップがないと治療が困難な時代になりました。呼吸器疾患が少しでも疑われる場合は、坂田先生や後藤先生に診察していただき、安心して治療ができております。これからもよろしくお願いいたします。また先

日は、当院のRAの患者様のMTX使用に伴う副作用である汎血球減少症を、消化器内科の瀧川先生に見つけてもらい連絡をいただきました。おかげさまで、すぐに対応でき、大事にいたらずにすみしました。本当に感謝いたしております。

今年、山鹿市民医療センターのMRIが新しくなり、画像が鮮明になりましたので診断が非常に楽になりました。放射線科の皆様にはいつも柔軟に対応していただき、感謝いたしております。

最後に、微力ではございますが、少しでも地域医療に貢献できるよう努力してまいりたいと思います。これからも御指導のほどよろしくお願いいたします。



地域医療連携だより (32)

特別養護老人ホーム あいさと

こんにちは、山鹿市鹿央町合里にあります特別養護老人ホームあいさとです。

当施設は、平成13年6月に定数30床とショートステイ6床でスタートしました。平成22年には、地域密着型20床を増床しています。現在は、一般型30床、地域密着型20床合わせて50床とショートステイ6床となっています。

他に、認知症対応型共同生活介護事業所さざんか9床と、居宅介護支援事業所あいさとも併設しております。

場所は、山鹿市鹿央町合里の小高い丘の上にあり、阿蘇の眺望を一望できる素晴らしい環境にあります。景色だけ見ていると、リゾートホテルに来たようです。

職員は、利用者がその人らしい生活が送れるよう、尊厳を守り安心と信頼のケアの提供が出来る様に日々努力しております。

また、ご家族や地域の方々との交流を通して、地域福祉にも貢献できるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。



あいさとスタッフの皆さん

医療最前線 (77)

禁煙！チャンスをとらえて ～医療従事者の役割とは～



禁煙外来
坂田 和子 先生

当センターでは、当センター利用者の受動喫煙防止、公的医療機関としての禁煙対策、治療、教育目的に平成22年7月に禁煙外来を開設し6年目となります。

この間、多くの患者様が禁煙治療に取り組まれ禁煙されてきました。

厚生労働省国民健康栄養調査による成人喫煙率も過去10年間減少傾向にあります。(喫煙率19.3%)

世界保健機構（WHO）が世界中の国々に呼びかけている世界禁煙デーも今年で28回目となり、今年のシンポジウムでは喫煙及び受動喫煙による健康被害等についての普及啓発に加え、世界禁煙デーの基本テーマである「たばこフリー（タバコの無い環境）」について広く国民に訴求することを目的として行われました。

さらには、今年の禁煙週間（5月31日から6月6日）には「2020、スモークフリーの国を目指して～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～」とテーマを高々と掲げで行われました。

たばこをめぐる環境は世界、国を挙げてスモークフリーへむかっています。

さて、医療従事者の禁煙についての役割をどのようにお考えでしょうか。

禁煙外来では、ニコチン依存症患者様の禁煙治療を行っており、保険適応を確認したうえで、禁煙補助薬（内服薬または貼付薬）を使用します。

禁煙治療は初診を含め5回の受診、3ヶ月に渡り行います。（毎週月曜日予約制・内科外来で電話予約可）患者様ご自身が禁煙に取り組まれるのを患者様の状態に合わせた助言で禁煙を進めるスタイルです。禁煙補助薬の効果もあり、経過は様々ですが、71名の患者様が禁煙されました。

ここで、患者様の受診のきっかけになるのが、医療従事者の適切な声かけです。特にかかりつけ医の先生からのお勧めや、人間ドッグ、健診時の担当医、保健師、看護師の関与は効果が高いようです。

喫煙者の中には、昨今のたばこをめぐる環境等から、たばこが強依存性物質であり、健康被害が大きいこと、受動喫煙の問題など、十分に理解されている方が多く、タイミングや、方法論に到らないだけの方も多いように感じます。

そろそろ禁煙しようかなというタイミングをとることが出来るのは、かかりつけ医の先生方、看護師さん、検査技師さん、事務担当の方と医療に関わるすべての方に機会があります。健診、人間ドックからもスムーズな受診に到ることが多いです。

実際に医療従事者の一言が禁煙のきっかけになった患者様は禁煙外来に多いことも事実です。

かかりつけ医の先生方をはじめ、医療従事者のすべての方が、スモークフリーへの扉を開くと考え、喫煙者にお声かけをお願いいたします。



薬剤科を紹介させていただきます。

当センターの薬剤科は、昨年に若いスタッフが2名採用されたことで、薬剤師6名、薬剤助手1名の体制となりました。患者さまが使用されるお薬を正しく安全にそして有効に使用して頂くために様々な業務を行っています。

業務内容は、医師の処方箋に基づく調剤業務を初め注射薬調剤、医薬品の在庫管理、情報管理などの通常業務の他、抗がん剤調整、薬剤管理指導業務（入院患者様の服薬指導・薬歴管理）、D I ニュース、持参薬鑑別を行っており、殆どの業務で取り扱い件数が年々増加傾向にあります。

また、院内での連携としては、NST・プレストケア・糖尿病対策・緩和ケア・ストーマケア・院内感染対策など各チーム医療の一員として、医師・看護師など他の医療スタッフとの協働により医療の質の向上、医療安全の確保のために取り組んでおります。

薬学生実習受け入れでは、薬学6年制における長期実務実習（11週）を毎年2名づつ受け入れており、私たち先輩薬剤師も学生を指導するにあたり「初心忘るべからず」の精神で、何事においても始めた頃の謙虚で真剣な気持ちを忘れないよう戒めているところであります。ご知り合いの実習生の紹介を是非お待ちしております。

その他、地域や市民の方への貢献事業として、市民出前講座を市内各地域に出向き年6回程度開催してい



山鹿市出前講座の様子

ます。主な題材は「おくすりの基礎知識」として高齢者の身体と薬について、薬の飲み方や飲み合わせの副作用について紹介いたしております。また、「山鹿市健康まつり」には山鹿地区薬剤師会と共同で参加しており毎年多くの来客を頂いております。

自己研鑽の取り組みとしては、当院の医療研修センター研修プログラムの一環として、薬剤師会の協力のもと薬剤師公開研修会を年2回開催し、毎回多数の調剤薬局・病院薬剤師の先生方のご出席を頂いております誠にありがとうございます。今後ともご参加の程よろしくお願いいたします。その他、各種学会・セミナー・研修会への参加・発表など多岐にわたって研鑽を積んでいるところであります。

以上ご紹介しましたとおり、少ない人員であります。が、微力ながら当センターの基本理念であります「地域住民の生命と健康への貢献」をモットーに日々努力しているところであり、今後とも病一薬：薬一薬連携を深めていきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻を賜われますようよろしくお願い申し上げます。

認定薬剤師の取得状況については、下記のとおりとなります。

日本病院薬剤師会生涯研修履修認定薬剤師
日本病院薬剤師会認定実務実習指導薬剤師
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
がん薬物療法認定薬剤師
ピンクリボンアドバイザー認定
日本糖尿病療養指導士



薬剤科のスタッフ

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

研修のご案内

第31回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
42.胸痛 74.高血圧症 75.脂質異常症

下記により第31回公開特別講演会を開催致します。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

記

日 時：平成27年9月11日(金) 19:00～20:30
場 所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演 題：「心臓血管外科の最新治療」
演 者：熊本大学大学院生命科学研究部
心臓血管外科学分野 教授 福井 寿啓 先生
会 費：無料

お問合わせ先  山鹿市民医療センター
事務部総務課 富田、福山
TEL：0968-44-2185 (内線608)

第43回クリティカルパス研究発表会のご案内

下記により第43回山鹿市民医療センタークリティカルパス研究発表会（公開）を開催いたします。院外からの多数のご参加を歓迎いたします。

記

日 時：平成27年9月30日(水) 18:00～
場 所：山鹿市民医療センター 1階医療研修センター
演 題：「人工膝関節全置換術のクリティカルパス」(4階病棟)
「分娩後のクリティカルパスにおける薬剤について」
(薬剤科)
「乳腺外来におけるパスを用いた化学療法」
(ブレストケアチーム)
「精巣摘出術パスの改定」 (2階病棟)
会 費：無料

お問合わせ先  山鹿市民医療センター
富田 (淳)
TEL：0968-44-2185

高校生インターンシップ（職場体験）

当センターでは、毎年高校生の職業意識を高め、社会に貢献する人材を育てる事を目的に各学校からの要請で高校生の職場体験を受け入れております。

今年は鹿本高校より8名の生徒を受け入れました。3日間の各部署見学と体験を通して、病院での業務と役割を体験する事により、病院の機能を理解し将来の進路に結びつけてもらえるのか不安でした。しかし、生徒さん達は終始疲れた様子もなく、「毎日楽しい」と輝く笑顔で興味津々な様子で説明を聞いたり、体験をしたり、真剣な態度で学んでいるのが印象的でした。

体験を終えての感想で「色々な職種を見学して、どの方も皆患者さまのことを一番に考えておられチーム医療の素晴らしさを感じた」「看護師として一番大切なことは、元気の挨拶と笑顔である事を実感した」「インターンシップに参加しとてもよい経験となり視野を広げる事ができた。看護師というのは、人の命に関わる大変な仕事で責任があるが、それ以上に得るものがあると実感し、看護師になりたいという気持ちが

いっそう大きくなりました」等々、ほんの数例の紹介ですが、このように多くのことを学び、そして将来の進路に繋げる一助になったのではないかと思います。

外来看護師長 山下 啓子



外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
内科	永野久俊・坂田典史	坂田 典史	吉岡 明子	永野久俊・坂田典史	永野 久俊
呼吸器内科 (紹介外来制)	—	※ 後藤 英介	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
循環器内科	大庭 圭介	大庭 圭介	※ 金子 祥三	※ 海北 幸一	大庭 圭介
内分泌・代謝内科	児島 協	※ 木下 博之	児島 協	—	児島 協
消化器内科	※ 立山 雅邦	古閑 睦夫	堤 英治	堤 英治	瀧川有記子
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 工藤 智志 平山 雄大	工藤 智志 矢澤 克典 平山 雄大	手術 (担当医)	高木 茂 矢澤 克典	手術 (担当医)
外科	大熊 利之	手術 (担当医)	池上克徳・宮村俊一	手術 (担当医)	飯田伸一・宮村俊一
乳腺外科	—	※ 末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	結城 康平	※ 山崎 浩藏	結城 康平	※ 村上 洋嗣	結城 康平
小児科	※ 石井 真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで)	—	※ 石井 真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで) ※ 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00～16:30 (受付は16:00まで)	—
セカンド 感覚器	耳鼻咽喉科	—	※ 深見 直美	—	※ 土生健二郎
眼科	榮木 大輔	榮木 大輔	榮木 大輔	榮木 大輔	榮木 大輔
産婦人科	福島 泰斗 井上 弘一	—	福島 泰斗 井上 弘一	福島 泰斗 井上 弘一	福島 泰斗 井上 弘一
※片渕美和子(午後) 9/1(火)、8(火)、15(火)、24(木)、29(火)					
総合診療科	—	※ 本郷 弘昭	—	—	—

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から4時までにお願いします。

◎小児科の予防接種は水曜日の午後に完全予約制で行います。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医。

特殊・専門外来

9月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
セカンドオピニオン外来	※ 本郷 弘昭	毎週 火曜 (午前)	外 科
禁 煙 外 来 (予約制)	坂 田 和 子	毎週 月曜 (午後)	内 科
睡眠時無呼吸外来	坂 田 和 子	毎週 火曜・木曜 (午後)	内 科
乳腺外来 (化学療法外来)	※ 末田 愛子	毎週 火曜	外 科
女性外来 (婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	9/1(火)、8(火)、15(火)、24(木)、29(火)	産婦人科
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜 (午後)	外 科
P E G 外 来	担 当 医	毎週 水曜 (午後)	外 科
緩和ケア外来	坂 田 典 史	毎週 金曜 (14:00～16:00)	内 科
糖 尿 病 外 来	児 島 協	毎週 木曜 (9:00～12:00)	内 科
小児科予防接種 (予約制)	※ 石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30～15:30)	小 児 科
両親学級 (予約制：産婦人科)	助 産 師	第2・第3・第4日曜日 (10:00～12:00)	5 階病棟
助 産 師 外 来 (乳房マッサージ・保健指導等) ※ 予 約 制	助産師：田中妙子	月曜、木曜 (8:30～16:00)	5 階病棟

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎セカンドオピニオン外来については、地域医療連携室にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>